Rotary

ロータリーに輝きを

2014−2015 年度 RIテーマ

”LIGHT UP ROTARY”

『ロータリーに輝きを』

ガバナー月信

2014.11

第5号

ソニックシティ

CONTENTS

ガバナーあいさつ ……2
職業奉仕を考える ……3
ロータリー財団月間に因んで ……6
ロータリー財団地域セミナー開かれる !!! ……7
財団奨学・平和フェロー・学友委員会 / 財団奨学生帰国報告…8
地区補助金運営委員会・補助金委員会 …… 10
資金推進委員会 …… 11
ポリオ・プラス委員会・ＶＴＴ委員会 …… 12
資金管理委員会・ロータリー用語辞典 …… 13
フィリピン国際奉仕プロジェクト視察報告 …… 14
フィリピン台風 30 号被災地訪問報告 …… 15
2014-15 年度来日学生名簿 …… 16
2014-15 年度ＲＬＩパート１報告 / グループ別入会達成率 … 17
公式訪問レポート …… 18
杉戸中央 RC 創立 20 周年記念式典、杉戸 RC・杉戸中央 RC 合併記念式典 / 文庫通信 … 22
富士登山・米山奨学生奉仕活動報告 …… 23
寄付者報告及び新会員 …… 24
会員数及び出席率 …… 28

国際ロータリー第 2770 地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116
エイペックスタワー東館1階
TEL：048-827-0022 FAX：048-827-0011
E-mail:ri2770@ri2770.com

ロータリー財団月間によせて

国際ロータリー第２７７０地区
２０１４～１５年度ガバナー
濱 野　英 美（大宮シティＲＣ）

この月信が皆様のお手元に届く時には、公式訪問も６５以上のクラブで終了していることと思います。第２７７０地区の７５クラブの８０％を廻らせて頂いたことになる訳です。

私はガバナーとして、まずは会員増強、ロータリー財団への支援・理解、青少年奉仕への支援、人づくり（職業奉仕）を強調事項としてお願いしてきました。特に会員増強はどんなに大きなクラブでも、少人数のクラブでも熱を込めてお話させて頂き、それなりの結果が出ているのではと感じています。

また財団、特にポリオ撲滅のお願いも力を込めて理解して頂けるようにお話させて頂きました。その意味でそろそろ、その効果が出てくる時期かと思います。皆さんに大歓迎をして頂き感謝に堪えませんが、会員のみなさんからの質問、要望等に出来るだけお答えしたつもりですが、今月はロータリー財団月間です、もっと広くもっと深く財団についてご理解頂ければと思います。

皆さんもご存知の通り、最初のロータリー財団のプログラムは１８名の国際親善奨学生のために使われたのです。そうです、「人づくり」のために発足したのが最初でした。

ロータリー財団は皆さんに、財団奨学生・平和フェローシッププログラム・職業研修チームプログラム（ＶＴＴ）・ポリオプラスプログラム等を提供しております。特にポリオ撲滅までにあと１％です、これが強調事項の一番です。ご協力をお願いします。ポリオ撲滅をロータリーが約束したのですから。

またＶＴＴでは、２０１４～２０１５年度は、スウエーデン第２３６０地区へのアルツハイマー症の現状及び研究・治療・設備についての職業研修チームの派遣を来年予定しております。ご期待下さい

公式訪問でもどこでもお話しさせて頂いております、米山の寄付、財団の寄付どれも人づくりに使われているのです、最終的にはロータリーの目標である、世界平和、国際理解、親善を推進する為なのです。

「ロータリーは人づくり　そして奉仕」です、ご理解を賜りたいと思います。

「ロータリーに輝きを」もたらす為に。

地区大会ＲＩ会長代理決定！

国際ロータリー第３７５０地区
１９９６～９７年度パストガバナー
２００９～１１年度ＲＩ理事
李　　奎　恒
（東安養ロータリークラブ）

職業奉仕を考える

元ＲＩ会長　田 中　作 次（八潮ＲＣ）

ロータリーの目的の一つは、日々の仕事を通して社会に貢献するために、奉仕の心を育て向上させることです。奉仕とは他人のために役立つこと、他人のニーズを充たすことを自己の責務として行なうことです。ロータリーの目的は、職業を通して社会のいろいろなニーズを満たすこと、ということであり、職業奉仕とは、職業を通して社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるよう努力を重ねるということです。それによって、自己の職業の品位と道徳水準を高め、社会から尊重される存在になることができます。

ここで大事なことは、ロータリアンは日々の仕事を通して生きる力の根本である自らの道徳的能力を高め、それを社会に反映させることを責務と考えて努力しているということです。すなわち、ロータリアンは日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努めています。このような仕事の仕方をロータリーでは、職業奉仕と呼んでいます。私たちが真のロータリアンであるか否かは、私たち自身とその職場が社会の模範となるように努力することを自己の責務と考えているか否かにかかっています。

何時の時代でも、社会の人々の道徳的能力の向上が叫ばれます。道徳的能力の基本は、人間が他の人々や動植物を含む自然環境に対して、どのような態度を取るべきかを適切に判断する能力であると考えられます。そのような判断を下すには、人以外の動植物やものとのコミュニケーションが出来なければなりません。人以外の動植物やものは人間の言葉を話さないので、それらとのコミュニケーションは想像力に頼るしかありません。

また、社会人として真っ当に生きていくためには、過去に学び、未来を予測することが必要です。そのためには、既に亡くなった人やこれから生まれてくる人との想像力を駆使したコミュニケーションも要求されます。したがって、道徳的能力の根本は想像力です。想像力は人文、社会、自然科学を推進する原動力でもあります。想像力を駆使して試行錯誤を繰り返すことで、科学は、そして社会は進歩していくのです。想像力の成果の集積は新しいものの概念や職業の創造に繋ぐことができます。創造力は想像力の集積の結果として生まれてきます。

ロータリアンは日々の職業奉仕を通して、自身の、また、職場や地域社会の人達の生きる力の根源である想像力を高め、社会の進歩と平和に貢献しています。ここでもう一つ述べておきたいことがあります。それは、自分が他に対してとるべきと考える態度が適切か否かを判断する際に、想像力とともに、その適切性を判断する規準が必要であるということです。この規準はあくまでも個人的なもので、人により異なるものですが、ある程度の一般性を持つべきものでもあります。その例として、ロータリーの四つのテストは非常に良くできた規準の一つと考えられます。

ロータリアンは職場の外でも社会のニーズを充たすために、いろいろな活動をしています。これは社会奉仕であり、活動の場が国際的であれば国際奉仕でありますが、それが自分の職業の専門性を活かした奉仕であれば同時に職業奉仕の性格も備えていることになります。職場の外での奉仕には、お金や物や労力を提供する奉仕、職場で培った知識・技術を提供する知的奉仕などいろいろな奉仕があります。これらのうち知的奉仕は、それぞれの分野で最高の知識、技術を備えたロータリアンにとっては、最適の奉仕の一つです。

多くの地区やクラブが何年にも亘って行なってきた小学校、中学校への出前授業や職場体験学習はその一例です。中学校で道徳の授業をしたとき、話を聴いてくれた生徒の一人が「最初は聞くだけで頭がこんがらがるような難しい話かと思っていたが、聴いているうちに、いろいろな科目や物事でも道徳で繋がっているのだという新しい見方ができるようになった」と言ってくれました。本当に嬉しい子供の一言でした。

ここまでに述べたことを頭に入れて、以下の職業奉仕に関するロータリーの公式文書ロータリーの四大奉仕、すなわち、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の考え方は、1927年ベルギーのオステンドで開かれた国際大会で決められたものです。このときに、それまでロータリークラブの基本理念として一般奉仕概念と呼ばれていたものに職業奉仕がありました。

職業とは：　われわれの社会では，人は日々なんらかの仕事をして，それによって報酬を得て生活の資としています。そうした仕事を職業という。毎日仕事をするといっても，趣味や道楽でする仕事，主婦の行う家事や育児，ボランティア活動などは職業とはいいません。また，たとえ生計を維持するためであっても，盗みや、ばくちをするなどの反社会的な活動は職業ではありません。職業は，生計を維持するための継続的で分担的な，社会的に有用な活動と定義されます。

職業奉仕とは：　職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものです。会員は、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行います。

職業奉仕は、ロータリアンがそれぞれの職業を通じて他の人々に奉仕し、高い道徳的水準を保つことを奨励するという考え方です。この職業すなわちvocationという語はbusiness、job、occupationやprofessionという語に比べて、神から授けられた仕事（天職）、社会生活における分業の担い手、職分、人に必要とされる職業というようなニュアンスが強い言葉です。このことを考え合わせていただければ、職業奉仕の理念がよりよく理解できると思います。

言行はこれに照らしてから行うべし。

1）真実かどうか　2）みんなに公平か　3）好意と友情を深めるか　4）みんなのためになるかどうか

皆様がすでに十分ご存じの通り、今申し上げた四つのテスト作成者、RI　元会長ハーバート　テイラー氏は、これを自社のための指針として創案した当時、「私たちは、第一に、従業員の雇用にあたって十分な注意を払い、第二に、彼らが自分の会社で順調に働いてゆくに従い、より優れた人間となるよう援助することを決めた」と語りました。テイラー元RI会長は、ロータリアンは、倫理感をもって思いやりの心で他の人々に奉仕するよう尽力することを強調しました。

それでは仕事の目的とは何かをもう一度考えてみましょう：

1,　出来れば自分の得意な分野の仕事を通じて社会に貢献すること。
2,　仕事によって自分の夢を実現しやりがいを感じる。
3.　新商品の開発と提供によって生活者に満足を提供する。
4,　社会における潜在的なニーズを顕在化させる。
5,　従業員など他者のために働く場を提供する。
6,　より豊かな生活環境を創造する。
7,　健康と夢の実現に繋がる。
8,　商品付加価値を高める情熱と努力を惜しまない。

9,　生産や流通の近代化を促進し豊かな社会の構築を。
10,　人のお役にたちそして喜んでもらいたいと皆思っている。
11,　仕事をしなくても経済的に困らない人でも健康と夢を持って仕事をします。
12,　一人では生きていけません。大勢の方々や自然の恵みによって生きています。
13,　人間社会は助け合い運動です。自分の出来る範囲で大いに活動すべきです。
14,　仕事の効率化は毎年毎年世界中で大きな進歩を見せています。
15,　経済的自立と自分の成長そして生きていくための収入を得ること。
16,　円滑な人間関係を築くコミュニケーション力、困難を克服する精神力を養う。
17,　仕事は困難なことを解決してくれるヒントや忍耐力を与えてくれます。
18,　仕事は時間の有効活用がいかに重要な鍵であるかを教えてくれます。
19,　効率化を進める意欲を与えます。
20,　働く人々にやる気と夢を与えます。
21,　常に平常心が持てるようになります。
22,　ロータリーが行う小中学校への仕事出前講座はとても好評です。
23,　地域社会に向けて仕事のよろず相談を行っているクラブもあります。
「実社会の厳しさ、楽しさ、やりがい等」が聞けます。
24,　3-5日間程度の職場体験学習もあります（高校生が事業所で体験）
25,　高い倫理観をもって職業活動を行なう。
26,　社会のニーズを満たしていく一つの方法が職業人の重要な任務です
27,　奉仕という意味は他者や社会の為に役立つという意味と私は考えます。
28,　有用な情報を捕まえ、活用する度合いは本人の関心度と行動そして決断次第です。
29,　企業発展のチャンスは無限です。
30,　自分の夢をかなえるために仕事があります。
31,　私の人生の例　　一番思考の実現　誰でもやればできる　挑戦　高い目標を
32,　企業の発展は潜在能力の活用と実行力次第です。

ロータリーの行動規範（Rotary Code of Conduct）
ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1)　すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
2)　職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。
3)　高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。
4)　他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
5)　社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
6)　若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。
7)　ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
8)　事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

ロータリー財団月間に因んで

ロータリー財団部門委員長
小 林　操（越谷北ＲＣ）

ロータリー財団について、分かり易く説明しましょう。

□ ロータリー財団はいつできた…1917年、アーチ C. クランフが基金設置を提案

□ ロータリー財団の構成員は誰…ロータリアンのあなた

□ 国際ロータリーの使命……他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務及び地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進すること

□ ロータリー財団の使命……健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

□ 寄付金の種類……　・年次基金、恒久基金、使途指定寄付（ポリオ・プラス基金等）

□ 資金の流れ

・集める：三國年度

年次基金
恒久基金の利息
計54万＄（概算）

3年後
シェアシステム

・使う：濱野年度

50％：国際財団活動資金
27万＄　（WF）

50％：地区財団活動資金
27万＄　（DDF）

DDF
27万＄

50％未満：地区補助金
13万＄（クラブ対象補助金、財団奨学生等）

50％以上：グローバル補助金
14万＄
（人道的プロジェクト、財団奨学生、職業研修チーム）

- 濱野年度の寄付は　⇒ノミニーノミニー年度に
- DDFは地区に裁量
- 利用条件がある（授与と受諾の条件）
- 地区補助金は地区から配分
- グローバル補助金は財団から直接クラブに
- 原則、補助金利用プロジェクトが終了しないと次のプロジェクトが承認されない
- **グローバル補助金プロジェクトはクラブ負担金3000＄で、総額30,000＄以上のプロジェクトが組める**

□ 地区クラブで進行中のグローバル補助金プロジェクト

- 水供給の池を作るプロジェクト
（インド：総額42,000＄：春日部西・大宮シティ）
- 医療施設のためのベビーインキュベーター（ナイジェリア：総額58,500＄：上尾）
- 医療機器購入支援（ブラジル：総額40,150＄：川口西・浦和・大宮）
- 聴力障害医療器支援（インド：総額43,577＄：春日部西）
- 遠隔地のための移動図書館（台湾：総額61,334＄：川口東）
- 産業廃棄物処理管理（フィリピン：総額43,079＄：戸田西）
- グローバル補助金奨学生（石関千穂：総額48,000＄：浦和）
- その他終了4件

使途指定寄付　⇒　ポリオ・プラス基金
（ポリオ撲滅運動）

「あと少し」2018年にポリオ撲滅
常在国：パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア

□ 寄付者の認証・・・認証状、襟ピン等

- ポール・ハリス・フェロー
- ベネファクター
- ポール・ハリス・ソサエティ－（PHS）：毎年1,000＄寄付してPHS会員になる
- メジャードナー（大口寄付）：顕彰午餐会、RI会長と記念撮影の案内

□ 寄付金（年次基金、恒久基金、ポリオ等指定寄付）は所得税等の寄付金控除の対象

□ **ロータリー財団は**

・ポリオ撲滅運動をWHO、UNICEF、CDC（米国疾病対策センター）と共に進めている
・多くの寄付を集めると、大きな、そして多くのプロジェクトが出来る
・プロジェクトは地域から世界まで
・人道的プログラムから奨学生、職業研修まで

＊ロータリー財団に関しての質問は、ロータリー財団部門まで

ロータリー財団地域セミナー開かれる！！！

ロータリー財団部門委員長　**小　林　操**（越谷北ＲＣ）

7月2日（水）東京高輪のグランドプリンスホテル高輪でロータリー財団地域セミナーが開催されました。

このセミナーは、**日本全体の地域を対象にしたゾーンセミナーです**。

日本はロータリーの地域分けで、第1ゾーン、第2ゾーン、第3ゾーンから成っています。このため北は北海道、南は九州から約300名のロータリークラブ地区役員の方々が一堂に会した勉強会と言えるものです。ゾーンについてはロータリーの友に毎回綴じ込まれていますので、自分のクラブが第何ゾーンに属しているか確認をしてください。

また、このセミナ―の目的はロータリー財団の最新情報の周知にあり、また情報交換の場でもあります。今回のセミナーの主役は何と言っても2770地区奉仕プロジェクト担当諮問委員、第1ゾーンRRFC（※）を務める岩渕均パストガバナーでした。つまりセミナーの主催責任者が岩渕均パストガバナーだったからです。

内容は、岩渕RRFCの「**財団運営費の新しい資金モデル**」の説明から始まり、大口寄付、ロータリー日本財団、グローバル補助金の活用、グローバル補助金の申請方法、ロータリー平和フェローシップ等々、江崎RRFCのポリオ撲滅のエンドゲームの説明は強く印象に残りました。

※　ＲＲＦＣ：Regional Rotary Foundation Coordinator（ロータリー財団地域コーディネーター）
ロータリー財団管理委員会委員長が原則としてゾーンごとに任命します。財団情報の提供、寄付増進その他さまざまな地区の活動を援助するために、全世界各ゾーンにＲＲＦＣが任命されています。任期は３年です。世界で４３名です。

財団月間に因んで

「財団奨学・平和フェロー・学友委員会」

委員長　**野口　佐智代**（越谷東ＲＣ）

当委員会の役割は

① ロータリー財団奨学生の募集、選考、オリエンテーション並びに留学希望校入学迄の支援、

② 国際キリスト教大学で学ぶ平和フェローの支援、

③ 学友会と連携することによるロータリー活動の活性化です。

2015-16年度の派遣財団奨学候補生に選ばれた四名の第一回オリエンテーションが7月19日に埼玉会館で開催されました。合格した奨学候補生は委員会で行う5回のオリエンテーションに出席することが義務付けられております。　学友による講演では、1996年度国際親善奨学生の久保昌史氏の「イギリス人の世界観と『三つの輪』」と題して行われました。その後、奨学候補生による「留学への抱負」と題してのプレゼンテーションでの熱弁は与えられた時間が足らないほどでした。

また、終了後行われた懇親会ではロータリアン、学友会、奨学候補生の満面の笑顔の中、和気藹々に閉じられました。

8月30日には今年度8月に来日したレベッカ・シムズさん他平和フェロー13期生歓迎会には岩渕RRFCをはじめとし当地区からも多くのロータリアンが参加しました。

◀レベッカさんと
内田カウンセラー

ミシェル・
アルドリッジさんと
新見カウンセラー▶

財団奨学生帰国報告

2013-14年度 国際ロータリー第2770地区
財団奨学生
(大宮シティロータリークラブ推薦)

徳星　達仁

▲例会にてバナー交換

イギリス・ランカスター大学大学院での一年間の留学が終わり、無事に帰国致しました。現地では政治・国際関係学部の紛争・開発・安全保障修士課程に所属し、主に平和構築分野の紛争解決について研究してまいりました。英語圏での生活は初めてだったこともあり、はじめは授業の予習や発表、課題の作成に苦労することもありましたが、次第にこなせるようになるにつれ、いつの間にか自信につながりました。語学力や専門性の向上もさせていただき、今後の人生の目標に向けて有意義なステップを経ることができました。また、例会や地区大会を通して現地のロータリーの方々とも交流させていただき、ロータリー奨学生ならではの貴重な経験をさせていただきました。

▲パブにて各国の友人達と

今後も理不尽な世界の現状を少しでも改善すべく、たとえ微力であっても貢献できるよう今後も精進してまいります。改めまして、今後の人生においても鍵となるような、かけがえのないとても充実した留学生活を実現させてくださったロータリーの皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

▲現地でのスピーチ

▼クラスメイトと

2013-14年度 国際ロータリー第2770地区
財団奨学生
(久喜菖蒲ロータリークラブ推薦)

石山　雄大

財団派遣奨学生の石山雄大です。昨年7月から1年間のシンガポールでの留学生活を終えて、今年6月に帰国しました。

留学を通して学んだことを一言で言えば、現地での出会いや経験を通じ、人として考え方が豊かになったこと、自分にも自信(というか度胸)が付いたということです。約1年でしたが、多様な国籍の方と触れ合ったことが、私にとって刺激であり大きな財産になりました。

留学期間中に計7つのRCでスピーチを行い、多くのロータリアンと知り合いましたが、そこから感じたことは、「仕事を通じ良いことをしたい」「困っている人を助けたい」「仲間・同志達を大切にしたい」という気持ちを持って活動に当たっている方が多かったということです。私もシンガポールのロータリアンに刺激を受け、仕事を通じ良いことをしたいと思うようになりました。

現在は東京で英資本の製薬企業にてマーケットリサーチの仕事に携わっています。これからも謙虚さを忘れずに目の前のことを頑張って行きたいと思いますので、皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

2015～16年度派遣財団奨学生よりの一言

成田　七海
(さいたま中央RC)　専門:音楽

はじめまして。成田七海と申します。私は東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京芸術大学で弦楽器のチェロを専攻しました。2014年9月よりオーストリアのウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学への入学を目指してただいま準備中です。留学を通して自分自身の演奏技術を向上させ、ヨーロッパにおける芸術の発展や現代社会との共存の仕方を吸収し、いづれ日本そして埼玉の文化の発展に貢献していけるようになることが目標です。どうぞよろしくお願いします。

寺戸　佑希
(越谷南RC)　専門:建築学

私は現在関西学院大学で建築を学んでいる４年生です。卒業後は建築を専攻に留学をし、修士号を修得したいと考えています。私の専攻している建築とは人の生活空間を生み出すという目的だけでなく、社会に影響を与えるに十分な力を持っています。よって、将来は建築のそのような面を生かし、世界を舞台に活躍したいと考えています。

本田　真理子
(川口RC)　専門:開発経済

この度は、グローバル補助金の奨学候補生として選んでいただきまして、誠にありがとうございます。私は今まで金融や経済関係の仕事をしてきましたが、前々から途上国に関心があり、今回はオーストラリアなどの英語圏で開発経済の勉強をするために応募させていただきました。卒業後は国際協力に携わりたいと考えております。

酒井　美江
(浦和北RC)　専門:国際関係論
中東地域研究

みなさん、はじめまして。浦和北ＲＣよりご推薦をいただきグローバルグラント候補生になりました酒井美江です。私の専門は国際関係、殊にパレスチナ問題を中心とした地域紛争です。北米でPhDを得た後は、英語圏の大学で教鞭をとりながら、紛争地帯でフィールドワークを行っていきたいと考えています。浦和北クラブをはじめ多くのロータリアンの方々と交流できることを楽しみにしております！

財団月間に因んで

「地区補助金運営委員会」

委員長　**名古谷　誠**（浦和ＲＣ）

財団月間を迎えて、現在までの経過をご報告します。

昨年12月末より委員会構成を行い、本年1月15日より委員会を開催し地区補助金の骨子を決め2月27日に行われる補助金管理セミナーの準備を開始しました。何度か委員会を開催し本年大きく変更した項目は申請、審査はロータリー財団のみで行う事にした事です。昨年国際と情報が交錯し手違いが生じた為です。支給につきましては、年次寄付（三国年度）地区目標200＄を達成したクラブに1400＄、未達成クラブに800＄と致しました。申請については4/1～4/末までとし、地区申請クラブ69クラブをTRFへ申請致しました。本年は昨年の報告処理の関係で7月下旬に承認の通知が届き、昨年より1ヶ月も遅く気をもみましたが、TRFでは今後7月末が目処となるとの事で今後は7月の事業提案は受けられなくなります。そして委員会としては各クラブが行った事業を随時報告を出していただいておりますが、報告書、写真、通帳等すべてメールにて送っていただく事が基本となっております。

2770地区ではパイロット地区として3年経過し昨年度から本格スタートしましたが、新任の会長さん又担当者の方々は少し複雑な手順に手間取る傾向がありすべての書類が一度でクリアーするクラブは20％程度でございます。

今後、申請書、MOU、収支通帳、報告書、写真などよりわかり易い手順に改善したいと思います。

次年度も12月末になりますと始まります。各クラブにおかれましては事業が終わり次第、報告書、写真等早めの提出を宜しくお願いします。

「補助金委員会」
グローバル補助金について

委員長　**小林　操**（越谷北ＲＣ）

ロータリー財団未来の夢計画の実施2年目、パイロット地区指定から5年目、グローバル補助金プロジェクトは各クラブにようやく浸透して来た感があります。

財団奨学生派遣では既に大塚桃子さん（大宮RC）を初め5名の奨学生を送り出しています。また職業研修チームは13‐14年度アメリカ5340地区サンディエゴにアルツハイマー病研修のため4名を派遣して、現在成果の検証にあたっています。

クラブが実施したプロジェクトは既に終了したもの9件、進行中のものが11件、手続中14件（2014.09.30現在：地区未承認含む）ありますが、より多くのクラブがグローバル補助金を利用したプロジェクトを組んでいただけるように、承認基準の明確化等、分かり易い財団を目指して行きますので、ご理解ご協力をお願い致します。

＜グローバル補助金申請地区依頼書承認基準（暫定）＞

① 手続手順
② 過去の補助金事業が終了しているか
③ 現地調査に行ったか、同様な情報を得ているか
④ プロジェクト計画の具体性（資金拠出だけは不可）
⑤ クラブ負担金3,000＄（前：1,000＄）以上
⑥ 依頼クラブの財団寄付状況
⑦ 審査期間は通常1カ月以内（前：15日）
⑧ 依頼クラブ5件を単位として受付し審査をする
⑨ 記録の管理保存の誓約

財団月間に因んで

「資金推進委員会」

委員長　**大熊　正行**（越谷北ＲＣ）

1917年、アーチC.クランフRI会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案され、この基金が1928年に「ロータリー財団」と名付けられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在の財団に至っています。ロータリー財団は、皆様方の寄付によって支えられ、多くのプログラムが実践されております。

資金推進委員会の役割は、財団プログラムを確実かつ継続的に行うための資金である年次寄付及び恒久基金を中心とした寄付を皆様に懇請することが主な目的ですが、さまざまな寄付形式についてロータリアンに情報を提供し、クラブを支援する委員会です。11月は、ロータリー財団月間です。既に早くは、９月より財団卓話の依頼を受けたクラブへ財団委員を派遣させていただいております。出来るだけ解りやすい卓話を心がけ、よりロータリー財団の意義を再認識して頂き「自分たちの財団」として意識を高め寄付への理解と協力をお願い致します。

１、　年次寄付

年次寄付は、ロータリー財団の補助金とプログラムの主な資金源です。

☆年次寄付目標

年次寄付	200ドル
ポリオ・プラス寄付	50ドル
会員一人当たり合計	250ドル

２、　恒久基金寄付

恒久基金寄付は、基金を通じて将来のロータリー財団プログラムを確保するためのものです。

☆恒久基金寄付目標

一クラブ当たり	ベネファクター１名
会員50名以上のクラブ	ベネファクター２名

※ベネファクターの寄付額は、1,000ドルで、元金は使用せず、運用収益のみが3年後にDDFとして戻ります。

３、　ロータリーカードでの寄付

日頃のショッピングで、例えば「ロータリーカード」で10,000円のお買い物をしたときに、0.3％（30円）が会員様のご負担なしに、自動的に財団に寄付されます。尚、スタンダードカードは年会費無料です。また、カードのポイントで年次寄付にも交換が可能（個人の年次寄付実績にも加算されます）です。

また、近年では、ビジネスカードも発行され会員企業でもその幅広い利用方法、利用価値が認識され加入・利用者が増えています。どうか一人でも多くの会員にロータリーカードにご加入いただき、ご利用いただきますようお願い致します。

＊ロータリー・インターナショナル・**スタンダード**・マスターカード

年会費無料　　利用額の0.3%寄付

＊ロータリー・インターナショナル・**ゴールド**・マスターカード

年会費10,000円　　年会費の中から3,000円が寄付　利用額の0.3%寄付

＊ロータリー・インターナショナル・**ビジネス**・マスターカード

年会費　3,150円（１枚につき）　年会費の中から1,500円が寄付　利用額の0.5%寄付

財団月間に因んで

「ポリオ・プラス委員会」

委員長　**伊澤　秀雄**（春日部南ＲＣ）

ロータリー財団月間である１１月は、私たちが財団への誇りを高める絶好の機会です。

まさしく、ポリオ・プラスがこれほどまでの成果を上げているのは、全てのロータリアンがその活動の意義を信じ、それを資金面で支援しているからです。

END　POLIO　NOW　今こそポリオ撲滅の時

２０１３年に世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）では、２０１８年までにポリオを撲滅させるという長期計画を打ち出しました。

現状、ポリオ撲滅まで残り１％（常在国３カ国パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリア）ですが、ポリオ撲滅には、　①ポリオへの理解不足　②信仰上の問題　③先進国への偏見　④紛争地区の問題等多くの障害があり、撲滅までには今まで以上の努力と資金が必要です。

END・POLIO・NAWからEND・GEMEとするには、今後５０億ドル以上の資金が必要であると言われております。それらを踏まえまして、当地区会員の皆様には会員一人当たり最低５０ドルの寄付をお願い致しております。

２０１４年～２０１５年度のポリオ・プラス委員会では次の計画をもとに活動を展開致しております。

①ポリオ撲滅運動の重要性を地区内外に発信するとともにロータリー財団月間を中心に卓話活動を積極的に行い地区ロータリアンのポリオへの理解と認識を深める

②ロータリーデーやその他イベントを活用し積極的な募金活動を展開する

（さる７月２７日のR財団セミナーでは大きな成果を上げました。今後地区内各クラブのロータリーデー等には積極的に参画する予定です。）

最後になりますが、各クラブの「ロータリーデー」でのポリオ募金活動を宜しくお願い致します。（尚、ポリオ募金活動に必要な募金箱・のぼり・粗品等は用意させていただきますので委員会まで連絡下さい。委員も募金活動のお手伝として参加させていただきます）

「ＶＴＴ委員会」

委員長　**齋藤　守毅**（大宮ＲＣ）

職業研修委員会は、職業研修チーム（VTT）を国際ロータリー第２３６０地区スウェーデン・イエテボリに派遣するにあたり、９月１４日（日）にチームメンバーの選考試験を実施しました。

今年度は７名と受験者の方が多く、ガバナー、ガバナーエレクト、財団委員長、財団部門委員長の厳正な審査のもと、以下の専門職業人４名が選出されました。

金沢　ひづる	医療法人金沢クリニック勤務　副院長　医師
高山　智絵	埼玉県総合リハビリテーション　センター勤務　理学療法士
清水　直美	埼玉県総合リハビリテーション　センター勤務　言語聴覚士
安部　明子	社会福祉法人福祉楽団　特別養護老人ホーム 杜の家やしお勤務 介護福祉士

今年度の派遣はこの４名がスウェーデンでの老人医療介護の研修で知識を広め、技能を高めることを目的にしています。また、研修の成果を日本国内で活かし、地域社会に貢献することも職業研修チーム（VTT）には問われています。

今後は派遣が有意義なものになるよう、また研修後の地域貢献にいたるまでの計画などを、オリエンテーションで形にしていく予定です。

財団月間に因んで

「資金管理委員会」

委員長　**八鍬　伸一**（蓮田ＲＣ）

（1）　資金管理委員会の役割

昨年度から『未来の夢計画』と呼ばれるロータリー財団の新しい補助金システムが世界中のすべての地区でスタートしました。当２７７０地区はそれに先駆けて、４年前からパイロット地区として先行実施し、したがって今年度は実質５年目ということになります。

この新システムの下では、これまでにない大型の国際的な奉仕プロジェクトも可能になると同時に、DDF(地区活動資金)などの資金管理も地区自らの裁量に委ねられることになりました。その反面、補助金の適切な管理・運用も各地区に委ねられる結果となり、『資金管理委員会』が置かれる結果となりました。同時にまた当委員会では、クラブ覚書の作成支援や財務管理計画の作成、及び活動資金の不正使用のチェック等々といったかなり広範囲な活動が求められています。

（2）　奉仕活動の詳細な報告のお願い

財団資金を使用した奉仕活動については、各クラブにおいて適切な運用と管理が求められます。自クラブ単独の奉仕活動とは明確に区別して整理保存していただくようにお願いします。そのため財団専用の銀行口座を開設し、地区補助金の交付から奉仕プロジェクトの資金使途完了まで、一気通貫でその適正性を証明できるようにしておいて下さい。

（3）　最低限保存すべき資料

①　補助金申請書
②　委託業者作成の見積書(出来れば相見積りも)
③　発注書・納品書もしくは完了報告書等
④　財団専用通帳の該当箇所のコピー
　(地区からの振り込み箇所と資金使用欄まで、残高欄も含めて)
⑤　対象となった物品及び設置後の現場の写真数枚

ロータリー用語辞典

・シェアシステム（Share System）

年次寄付の使途を選ぶ方法が、1991～92寄付年度（1994～95年度）より、褒章枠からシェア・システムに変わりました。年次寄付の50％が地区財団活動資金（District Designated Fund＝DDF）で、50％が、国際財団活動資金（World Fund＝WF）です。シェア・システムにより、地区が選択できる奨学金の種類や、プログラムが増えました。

・ＷＦ（World Fund）国際財団活動資金

会員から寄付された『年次寄付』は50％がWFとして**ロータリー財団**（TRF＝The Rotary Foundation）に残され、３年後に運用益を加えた50％が**地区財団活動資金**（DDF＝District Designated Fund）として地区に戻ってきます。

・ＶＴＴ（Vocational Training Team）職業研修チーム

従来の研究グループ交換（Group Study Exchange）が変わったもので、交換でなくて良いこととなりました。以前の国際親善を目的としていたものが、より世界社会貢献度の高い職業の実践に役立つ研修を目的としたものに変わりました。今年度は、「認知症対応について（継続2）」をテーマとしてスエーデン・イエテボリ地区への派遣を４月の２週間を予定しています。

フィリピン国際奉仕プロジェクト視察報告

国際奉仕委員会委員長　**立澤　利夫**（吉川ＲＣ）

今年度国際奉仕支援事業にタイやミャンマーフィリピンなど多くの支援に取り組んで頂き感謝申し上げます。中でもフィリピン3800地区からの要請には、地区補助金・グローバル補助金を利用した所も含めて16事業を受けて頂くことになり、9月13日から16日の日程で現地へ視察に行かせて頂きました。

1日目は、3800地区ガバナーMarilou.Co.宅に諮問岩渕均PG、田中徹夫PG、大東部門委員長初め2770地区からは総勢63名が招かれ盛大な歓迎夕食会をして頂きました。

2日目はフィリピンの現状を見る為に、モンテンルパにある孤児院「VOICE OF HOPE」を見学しました。モンテンルパはマニラに隣接した都市ですが、スラムで貧困生活をしている人が多く、不衛生な環境のなか子供達は一日一食しか食べられず学校に通うことが出来ない状況です。そこで、「VOICE　OF　HOPE」では1997年からストリートチルドレンや極貧家庭への支援を始め、現在では約50人の孤児への給食支援やスラム住人に対して物資援助、教育、医療などの支援をしています。私達も支援金と当日集まった子供達へタオルとチョコレート（山本委員提供）を手渡してきました。

3日目はグループに分かれて各支援事業の支援先を訪問しました。現地RCのサポートで訪れた先は、台風の雨の影響もあって道路も水浸しの状況、小学校は休校でしたが校長先生が対応してくれ、トイレや水飲み場の不衛生な現状を目の当たりにし、すぐにでも支援が必要なことが実感できました。

私達国際奉仕委員会を仲介してRC会員皆様のご寄附とお心を現地にお届けできることに深く感謝いたします。

また、以前支援した水飲み場やトイレが壊れている状況を見ると、ただ単に設備を与えるだけでなく、その後も継続して利用できるような、現状に合った支援の方法が今後の課題だとも思いました。

日頃テレビで観る世界の様子も実際に現地で見て体感することで、更に支援の必要性を感じたり、様々なことを考えさせられます。

次は来年2月8日から11日の日程で各事業の結果を検証に行きます。皆様も一緒に見に行きませんか。

フィリピン台風 30 号被災地訪問報告

国際奉仕部門委員長　**大東　悦巳**（春日部西ＲＣ）

昨年の11月初旬に、史上最大規模の台風30号がフィリピンの島々を襲い、特にレイテ島、セブ島の北部に甚大な被害をもたらしました。当地区はいち早く募金活動を行い11月末、被災地の国際ロータリー第3860地区へ300万円を送金しました。

被害から10ヶ月たった現在の状況確認と支援金がどのような使われ方をされているかを確認する為、渡邊直前G、田中徹夫PDG、国際奉仕部門委員会メンバーにより9月16日～18日の日程で被災地を訪問しました。16日午後7時にD3860地区災害特別委員長であるウィルトンさんが所属するセブウェストRCの例会に参加し、翌日の被災地訪問の打ち合わせを行いました。

17日の朝9時にホテルを出発してセブ島北部の被災地を訪問。計5ヶ所の支援地を案内していただきました。訪問したのは

①ハウジングプロジェクト現場　②フィッシュボートプロジェクト（製作小屋）

③④サンレミジオにある2つの学校

⑤自転車タクシー寄贈プロジェクト+食料支援事業です（市の施設）。

いずれも現地ロータリアンが一生懸命奉仕活動をしており、地域とも良好な関係を築いています。今回はセブ島北部を案内していただきましたが3860地区は甚大な被害を受けたレイテ島へも被災者用の住宅建設、フィッシュボート寄贈、病院の修繕を行っているとの事です。

今回の訪問でフィリピンは台風被害だけではなく、特に地方に行けば行くほど6つの重点分野に関わる問題が山積みであることを再認識しました。14時間掛けて私たちを案内してくれた第3860地区のウィルトンさん、バーニーさん、アシルさんに感謝。

2014－15年度　来日学生名簿(顔写真一覧)

2014/9/9

①	来日学生名
②	ニックネーム
③	出身国
④	受入高校名
⑤	世話クラブ
⑥	カウンセラー

1

①	sandford Blaine KINNE
②	ブレイン
③	アメリカ(フロリダ)
④	八潮高等学校
⑤	八潮RC
⑥	太田興理子

2

①	William Parker HAMILTON
②	パーカー
③	アメリカ(フロリダ)
④	上尾高校
⑤	上尾RC
⑥	大木保司

3

①	Naomi Anne MYERS
②	ナオミ
③	アメリカ(セントラル)
④	春日部女子高等学校
⑤	春日部イブニングRC
⑥	鈴木伸雄

4

①	Samuel Heyman GORDON
②	サム
③	アメリカ(セントラル)
④	春日部共栄高等学校
⑤	杉戸RC
⑥	栗原偉憲

5

①	EDUARDO SA DOS SANTOS
②	エド
③	ブラジル
④	大宮北高等学校
⑤	大宮西RC
⑥	木本栄一

6

①	Campesi, Beatriz Amaral
②	ビア
③	ブラジル
④	川口市立川口高等学校
⑤	川口シティ鳩ヶ谷RC
⑥	片岡一之

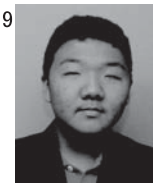
7

①	ORDAZ Lopez Jesus August
②	ガス
③	メキシコ
④	大宮北高等学校
⑤	大宮シティRC
⑥	葩島一弘

8

①	Kim Su JI
②	スジ
③	韓国
④	草加南高等学校
⑤	草加松原RC
⑥	加藤修三

9



①	Lee Geon
②	ケン
③	韓国
④	越ヶ谷高等学校
⑤	越谷東RC
⑥	栗田晴巳

10

①	KRISTENSEN Alexander Vejlgard
②	アレックス
③	デンマーク
④	春日部共栄高等学校
⑤	春日部西RC
⑥	押田　豊

11

①	NAVNTOFT, Karoline Krogh
②	カーロ
③	デンマーク
④	春日部共栄高等学校
⑤	春日部RC
⑥	尾堤信男

12

①	SCHNIDER, Kathrin
②	カトリン
③	スイス
④	さいたま市立浦和高等学校
⑤	浦和東RC
⑥	時友正孝

13

①	Maria Linnea SAWEMARK
②	マリア
③	スウェーデン
④	武南高等学校
⑤	川口RC
⑥	森田昭平

14

①	LEOKA Jillian
②	ジル
③	ベルギー
④	越谷西高等学校
⑤	越谷RC
⑥	青木冷子

15

①	Andrea USAI
②	アンドレア
③	イタリア
④	川口北高等学校
⑤	川口北RC、川口むさし野RC
⑥	市野一郎

16

①	Rebekka Zieger
②	ベッキー
③	ドイツ
④	三郷北高等学校
⑤	三郷RC
⑥	豊田茂雄

17

①	Frena Carmen
②	カルメン
③	オーストリア
④	浦和西高等学校
⑤	浦和南RC
⑥	浜田邑侑

2014～15年度 ＲＬＩ パート１ 報告

地区ＲＬＩ運営委員長　**篠原　唯史**（浦和北東ＲＣ）

秋空晴れ渡る9月13日（土）に「ＲＬＩ　パートＩ」が開催されました。修了証書授与されたロータリアンは83名（地区内78名、他地区5名）の皆様です。ＲＬＩでは、通年若しくは年度を亘ってパート１からパート3まで修了された皆様に修了証バッジを贈呈しております。今回の受領者は23名（地区内21名、他地区2名）の方々に濱野ガバナーよりお一人ずつバッジを着けていただきました。

地区研修リーダー森田武司様から有意義なセッションが展開されていて素晴らしい1日でありました。と評価をいただきました。

懇親会では、達成感と安堵のロータリアン各位よりディスカッションリーダー皆様に感謝の言葉をいただきました。今年度参加されたロータリアンからは「修了証バッジ」を頂けるようすべて参加します。と、述べてパート１の楽しい一日が終了いたしました。

会員増強はなぜ必要なのか……

会員増強維持部門委員長　**小山　重治**（戸田西 RC）

☆クラブの存続と維持　　☆クラブの活性化
☆クラブの活動の拡大　　☆クラブの運営基盤充実
☆新たな人と人とのつながりと信頼

１９０５年に誕生したロータリークラブは当初４名で発足をしました。

現在、世界には２００を超える国や地域、３万を超えるクラブと１２０万人のロータリアンが存在していると言われている事こそが会員増強がなされた事と言えるでしょう。新会員を迎え現在から未来へロータリークラブの維持と歴史をつなぐ為には時代の変化に対応しながらロータリークラブの活性化をはかり、その基盤を確実にする為に常に会員増強に取り組まなければならないと思います。

グループ	ガバナー補佐（敬称略）	純増目標数	通算入会数	達成率	グループ	ガバナー補佐（敬称略）	純増目標数	通算入会数	達成率
1	高柳　和之	23	4	17.39%	7	印田　博秀	21	6	28.57%
2	井原　　實	21	8	38.10%	8	浅水　尚伸	19	13	68.42%
3	星野　時夫	30	9	30.00%	9	大島　　勝	31	9	29.03%
4	鈴木　　隆	29	11	37.93%	10	白石　克己	23	9	39.13%
5	小髙　正之	30	8	26.67%	11	小川　長四郎	31	10	32.26%
6	吉岡　　修	25	11	44.00%	12	熊木　正太郎	26	3	11.54%
					地区内全体		309	101	32.69%

公式訪問レポート

八潮イブニングＲＣ

例会日　平成26年8月6日(水)　会長:白岩　輝幸／幹事:藤波　達也

８月６日(水)午後７時から濱野ガバナーを迎えての公式訪問が行われました。今年度は八潮みらいＲＣとの合同での開催でした。

一週間前に第９グループ大島ガバナー補佐にお越しいただき、クラブ協議会をおこない、今年度の活動計画書に対しご指導をいただいておりましたので、公式訪問当日は濱野ガバナーからパワーポイントを使っての卓話といいますか、講演をしていただき、初めての試みの合同公式訪問が大勢の会員が出席して開催できました。

八潮みらいＲＣ

例会日　平成26年8月6日(水)　会長:平良　嘉浩／幹事:松澤　勝広

今回当クラブは八潮イブニングRCとの合同公式訪問となりました。７月３１日クラブ協議会を当クラブのみで行い、大島勝ガバナー補佐の参加で行いました。濱野英美ガバナーの意向で、年度計画書に書いてある内容を読むだけでなく、時間かけてよく話し合ってくださいとのことでしたので、１時間３０分かけて意見が沢山でました。おかげさまでクラブとして委員長のみでなく委員の方々全員で話ができて、充実した協議会になりました。３年未満の会員も多くよくわかりましたと喜んでいました。

８月６日ガバナーとの面談の話し合いも、気楽に話ができて、たいへん参考になりました。３０分の卓話を頂き優しい言葉で、よくわかりやすい説明でした。やはり３年未満の会員たちも、真剣に聞いていて、大変楽しい公式訪問となりました。早速、増強について皆がやる気が出ましたので本年、仲間を沢山増やし、濱野英美ガバナーに恩返ししたいと思います。有難うございました。

三　郷ＲＣ

例会日　平成26年8月22日(金)　会長:坂下　昇平／幹事:豊田　茂雄

平成２６年８月２２日 金曜日 濱野英美ガバナー、野原哲夫副幹事、第１０グループ白石克己ガバナー補佐、鈴木補佐幹事をお迎えし公式訪問が行われました。

例会前に濱野ガバナーを囲んで懇談会が行われました。坂下会長が熱く三郷ロータリーの将来を語り、それについて濱野ガバナーのご指導を頂きました。また濱野ガバナーの飾らない人間性に触れ、一層の意欲がわいてくる懇談会であったと思いました。

会員と共に食事をとり、その後例会に入りました。増強に力を入れている我がクラブとして公式訪問の日に今年度４人目の新会員の入会式を行うことができました。

様々な問題がありますが、熱く指導して頂いた濱野ガバナーに応えられるよう三郷ロータリークラブの発展を目指して、全会員が頑張っていこうと一致団結した公式訪問であったと思います。

大宮西ＲＣ

例会日　平成26年8月25日(月)　会長:伊田　雄二郎／幹事:新井　清太

去る８月２５日、「パレスホテル大宮」に於きまして、濱野ガバナー、鈴木ガバナー補佐、小林地区副幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催致しました。

当クラブはここ４年ほどで会員数を倍増させたということもあり、半分以上のメンバーが在籍４年未満のクラブですので、懇談会の中では、ガバナーより「ベテランと若手の融合がポイントである」とご指摘を頂きました。

初めての委員長さんも多いわけでありますが、ガバナーに申し上げました今年度の各委員会方針を全う出来ますよう、メンバー全員で協力して参りますことをお約束致しまして報告とさせて頂きます。

川口モーニングＲＣ

例会日　平成26年8月30日（土）　会長：西山　育昌／幹事：静谷　雅人

８月３０日土曜日、濱野英美ガバナー、中村芳彦地区副幹事、小川長四郎第１１グループガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

例会では、ガバナーの卓話「RIテーマと地区方針」について、解り易く説明して頂きました。

その後クラブ協議会を設営し、管理運営部門から５大奉仕部門の各委員長からの方針を発表し、濱野ガバナーからご指導をいただきました。

協議会終了後、濱野ガバナーから講評いただきました。また、当クラブでは、３年未満の会員が１０名以上いますので、その会員に対してロータリーの意義をお話していただき、新会員も大変参考になったと思います。

最後に全員で記念写真を撮り終了しました。貴重なご指導を頂きありがとう御座いました。

岩槻東ＲＣ

例会日　平成26年9月2日（火）　会長：菊池　和彦／幹事：宮本　和寿

毎年、我がクラブの公式訪問例会は、残暑厳しい9月の初めですが、今年はやや涼しい秋晴れの一日でした。濱野ガバナーの大変わかり易い「卓話」に続き、「クラブ協議会」でのご指導に、会員一同終始、時間の経つのも忘れるくらい熱心に勉強致しました。幸い次の公式訪問の予定が入っていない為、会員皆とご一緒に酒を酌み交わし慰労会にまでお付き合い頂き、初秋の夜の虫の声と共に和やかな雰囲気で一日が終了致しました。濱野ガバナー、鈴木ガバナー補佐、恵川地区幹事、小林副幹事様、ご苦労様でございました。これを踏まえて、更なるクラブの発展につなげて参りたいと思います。

栗　橋ＲＣ

例会日　平成26年9月4日（木）　会長：遠藤　正和／幹事：石垣　正順

濱野ガバナー、印田第７グループガバナー補佐をお迎えして、栗橋RCのガバナー公式訪問が開催されました。

例会ではガバナーよりRIテーマ・地区運営方針について親しく卓話を頂きました。少人数クラブゆえ形にこだわらずクラブ協議会を開き、ガバナーより特に会員増強についてご指導頂きました。ガバナーには、クラブ協議会後、栗橋RCが進めております利根川河川敷「森づくり」の現場をご見学頂きました。

「ロータリーは人づくり　そして奉仕」を
指針に少人数クラブのあり方を考え実行して参りたいと存じます。

濱野ガバナーありがとうございました。

大宮南ＲＣ

例会日　平成26年9月9日（火）　会長：黒臼　秀之／幹事：杉村　俊明

9月9日（火）濱野英美ガバナー、星野時夫ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。同、第3グループ輩出の濱野ガバナーの公式訪問という事で、和やかなうちに懇談会へ進む事ができ、クラブの諸問題ついて隔意のない意見交換が出来ました。

例会では、ガバナーより3名の新会員へバッチを付けて頂き、「ＲＩテーマと地区運営」について卓話を頂きました。

続いてクラブ協議会では、各委員長より事業計画や活動予定の報告があり、その後ガバナーより講評を頂き、またガバナー補佐にも具体的なアドバイスを頂き、和やかな中にも厳粛なクラブ協議会となりました。本日頂いた貴重なお話を今後のクラブ運営に役立てて参りたいと思います。

会員一同、御訪問に心より感謝申し上げます。

さいたま欅ＲＣ

例会日　平成26年9月9日（火）　会長：三上　等／幹事：陳　麗瓊

平成２６年９月９日，濱野英美ガバナー，星野時夫ガバナー補佐，岩淵孝男副幹事をお迎えして，ガバナー公式訪問が行われました。濱野ガバナーは，当クラブが３１クラブ目の公式訪問とのことで，大変お忙しい中，ご訪問いただきました。

濱野ガバナーより卓話をいただき，ガバナーのご自身の経歴，大宮シティＲＣの立上げなどのお話の後，本年度のＲＩのテーマである「ロータリーに輝きを」の意味を分かりやすく，かみ砕いた表現でご説明いただきました。その後，クラブ協議会に移行しました。ガバナーより，各部門の報告に対して，分かりやすい講評をいただき，実のある例会，協議会となりました。

幸　手ＲＣ

例会日　平成26年9月10日（水）　会長：伊藤　敦彦／幹事：玉木　和夫

平成26年9月10日（水）濱野英美ガバナー、印田博秀ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を開催致しました。ガバナーは、当日、早めに幸手にご到着され、市内を視察し、活気が無くなっている商店街の現状を確認されてから例会にご参加されました。
例会に先立っての懇談会では、当クラブからの質問が多いにもかかわらず、ご指導を頂き参考になりました。中でも会員の出席率を上げる為にはどうしたら良いかの質問に対しては、会員増強に繋がる大変参考となるお話をしていただきました。また、職業奉仕につきましても本来の意味合いも含め会員相互の繋がりを深めてゆく考え方をご教授いただきました。例会では、新入会員にロータリーバッチを付けて頂き、卓話ではプロジェクターを使ったわかりやすい説明をして頂きました、会員の理解が深まりとてもよかったと思います。また、クラブ協議会では各委員長の発表に的確なご指導とご助言を頂きました。特に、R財団特別寄付、米山奨学特別寄付については、寄付の目的や今後の寄付のあり方など深く踏込んだ問答にも、ガバナーからわかりやすい説明と熱心なお話をしていただき、会員一同納得することができました。さらに、公式訪問終了後の懇親会にも、快く参加して頂きそのお陰もあって、一層の親睦を深められました。翌日にはお礼のご挨拶まで頂き、大変恐縮しております。会員一同、有意義な一日を過させて頂き誠にありがとうございました。

最後に、濱野英美ガバナー、印田博秀ガバナー補佐に、改めて心より感謝申し上げるとともに、今後のご活躍とご健康をお祈り申し上げ、ガバナー公式訪問の御報告とさせて頂きます。

川　口ＲＣ

例会日　平成26年9月11日（木）　会長：浅沼　良臣／幹事：砂沢　学賦

濱野ガバナー、小川ガバナー補佐を当クラブ例会場の川口そごうにお迎えし、9月11日に公式訪問例会を開催しました。例会においては、本年度入会の3名の出席者に対し濱野ガバナーよりバッチをつけて頂き記念に残るセレモニーとなりました。

例会の中では、当クラブが入会3年未満のメンバーが17名、また10年未満では48名と若いメンバーが多いことからロータリーのことをとてもわかりやすく、同時に情熱的に伝えて頂きました。例会後のクラブ協議会においては、様々なガバナーからのアドバイスと共に寺田会員増強委員長作成の会員増強パンフをガバナーにお持ち帰り頂くなど有意義な時間となりました。

例会やその後のクラブ協議会を通して一番感じたことは、ガバナーご自身が事前に当クラブの現状などを非常によく把握して頂いた上で、クラブにあったお話をされていることが熱意と共に非常に伝わり、大変有意義な公式訪問例会とさせて頂くことが出来感謝申し上げます。

浦和西ＲＣ

例会日　平成26年9月16日（火）　会長：桶本　詔亮／幹事：池畑　秀夫

9月16日に浦和西クラブの公式訪問が実施されました。創立40周年を迎えベテランの桶本詔亮氏が会長を池畑秀夫氏が幹事を務めておられます。懇談会では、濱野Gから、「貴クラブの今年度のテーマは40周年と増強ですね」と指摘が有り、増強については、40周年の式典までには25名の会員にしたいと、熱い議論が展開されました。例会には今年度増強された3人に新会員も加わり、濱野Gからバッジをつける儀式を行いました。クラブ協議会では、「ロータリーデーではポリオの募金を一緒にやって下さい」、「ペットボトルキャップの取集実績は地区内で上位を占めていらっしゃいます」などの指摘が有りました。桶本会長の議長のもと、終始和やかな協議会でした。

桶　川ＲＣ

例会日　平成26年9月17日(水)　会長:前島　昌文／幹事:村山　隆之

去る９月１７日水曜日、国際ロータリー第2770地区、濱野英美ガバナーにお越しいただき公式訪問例会を開催いたしました。
第一部では濱野ガバナーより情熱溢れる卓話を頂きました。また、第二部のクラブ協議会に於いては、当クラブの事業計画に対し適確なアドバイスを戴きながら心の通った濱野ガバナーのご対応にメンバー一同心温まりました。
桶川ロータリークラブのメンバーにとって大変有意義な例会になりましたことに心から感謝を申しあげましてご報告とさせて頂きます。

上尾北ＲＣ

例会日　平成26年9月19日(金)　会長:藤波　貢／幹事:中村　清治

9月19日(金)　濱野英美ガバナー、小高正之ガバナー補佐、堀口勝男ガバナー補佐幹事及び佐藤誠地区副幹事をお迎えし開催されました。例会前に濱野英美ガバナー、小高正之ガバナー補佐、堀口勝男ガバナー補佐幹事及び会長、幹事、会長エレクトとで懇談会が行われ、クラブの現況を説明し、会員増強拡大などのご指導を頂きました。例会では、“ライトアップ・ロータリ”、“ロータリーは人づくり、そして奉仕”について卓話頂き、当クラブの新入会員にRIテーマバッジを頂きました。クラブ協議会では、ロータリーデイの実践などもご指導頂きました。限られた時間のなか濱野ガバナーの熱い思いを拝聴することができました。ありがとうございました。

さいたま新都心ＲＣ

例会日　平成26年9月22日(月)　会長:大熊　忠男／幹事:瀧沢　努

９月２２日月曜日　第２７７０地区ガバナー・濱野英美様、地区副幹事・徳山義行様、第２グループガバナー補佐・井原實様をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。
　１１時よりガバナーとの懇談会が開かれ１２時３０分からガバナー卓話、クラブ協議会と１５時まで行われました。主な内容はわかりやすく会員増強とポリオ撲滅の支援であり、まずはご指導頂きました。会員増強についてはさいたま新都心RCの会員特徴などからガバナーにお考え頂きご指導を頂戴しました。ポリオ撲滅についてはロータリーデーを含んだすべての５大奉仕活動に繋がるご提案ご指導及び的確なアドバイスを頂きました。その他、友好クラブを国内でつくり親睦旅行などに活用したり、２５周年のアドバイスも頂きました。また、来年度当クラブよりガバナーを選出するための経験に因んだ的確な心優しいアドバイスをご指導頂きました。濱野ガバナーは若い会員が多い当クラブに本当にわかりやすく、目線を同じにして卓話・クラブ協議会をご指導頂きました。感謝申し上げます。有難うございました。

浦和ダイヤモンドＲＣ

例会日　平成26年9月24日(水)　会長:高橋　宣治／幹事:高澤　史生

浦和ダイヤモンドロータリークラブ（髙橋宜治会長）では９月２４日、濱野英美ガバナー、山市泰久地区副幹事をお招きしてガバナー公式訪問が行われました。今年度は当クラブにとって創立２０周年の節目の年となりますが、濱野ガバナーからは「浦和ダイヤモンドロータリークラブの特色を確立して、これを全面に打ち出してほしい」と激励の言葉を頂きました。

杉戸中央 RC 創立 20 周年記念式典、杉戸 RC・杉戸中央 RC 合併記念式典

新生　杉戸ロータリークラブ会長
廣井　慎一

平成26年9月6日（土）浅草ビューホテルにおいて「杉戸中央RC創立20周年記念式典」および「杉戸RC・杉戸中央RC合併記念式典」が行われました。杉戸中央RCはこの20周年をもって幕を閉じますが、親クラブである杉戸RCと合併し『新生杉戸ロータリークラブ』として共にスタートすることになります。

会員の約半数が40代の若い「子クラブ」と、年齢層の離れた歴史ある「親クラブ」が合併することは、昨今の会員減少では必然的な結果ではあります。しかし、合併をして会員数が増えるということは、クラブ活動の面において数字以上の相乗効果になることは間違いありません。

『合併』には、吸収や存続など悲観的な見方が多いですが、年輩会員の知恵と知識、若い会員の新しい感覚と行動力の融合、そしてクラブ運営の合理性といった利点は、我々にとって合併なしには得られないものでありました。数年前から話が上がっておりましたこの合併が、この度、満を持して達成できましたことをご報告すると共に、今後は、この世代層を生かしながら教育活動から福祉まで、より一層地域社会に貢献できるクラブとして活躍していきたいと思います。

文庫通信（325 号）　古典文献より（2）

◎「ロータリー・クラブに就て」　米山梅吉　1929　12p
（ロータリー・クラブ民衆文庫）

◎「汎太平洋ロータリー大會に臨みて」　トム・サットン
芝染太郎(解説）1929　3p　（ロータリー・クラブ民衆文庫）

◎「ロータリークラブの目的と信條」　村田省蔵　D.70
1934　9p　（ロータリーを語る）

◎「ロータリークラブに就て」　坂田幹太　1928　12p

◎「國際ロータリーの組織に就いて」
米山梅吉　1931　8p

◎「常識の重要性」　米山梅吉
1937　6p
（東京ロータリークラブニュース）

◎「新ラシキ會員ノ為メニ」　大阪R.C.　1928　43p

◎「第七十區ガバナー告辞」　村田省蔵　今治R.C.
1935　13p　（今治ロータリー倶楽部発会式記録）

◎「サーヴイス座談會」京都R.C.　1937　8p
（京都ロータリー倶楽部週報附録）

〔申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL（03）3433-6456・FAX（03）3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　休館＝土・日・祝祭日

富士登山・米山奨学生奉仕活動報告

米山記念奨学部門委員長
斉藤　順彦（越谷ＲＣ）

「富士登山」

毎年恒例となりました吉田豊治パストガバナー（越谷南RC）主催の富士登山が、8月6日・7日で行われました。

地区の公式行事ではないにもかかわらず、米山奨学生・学友を中心に参加者は40名を超え、今年も大盛況となりました。

当日は天候にも恵まれ、3名の素晴らしいガイドさんと共に登山開始です。1日目は、7合目まで。山小屋で一時睡眠をとり、明日の登頂に備えます。深夜1時、ご来光を拝む為、前日の疲れと戦いながら登山再開です。

最終的に頂に着いたのは、28名。高山病等もある為、生半可な気持ちと体力では登れません。大事をとり、敢えなく途中下山となった参加者もいましたが、参加者全員が何かを得られた富士登山だったと思います。

海外の留学生にとって「富士山」というのは日本を象徴する特別なものであり、我々日本人の文化そのものと言えるでしょう。

貴重な機会を与えてくださった吉田パストガバナー、どうも有り難うございました。来年もよろしくお願い致します。

「米山奨学生奉仕活動」

平成２６年９月１４日（日）埼玉県越谷市にある社会福祉法人　大吉会の介護老人福祉施設特別養護老人ホーム「キャンベルホーム」を訪問。趣旨は「敬老月間にあたり、米山奨学生・学友を対象に、他国では珍しい日本の老人介護施設を訪問し、高齢者の皆さんとの交流をはかり『超我の奉仕』の実践を体験し、ロータリーの理念を理解してもらうこと」です。

司会進行・アトラクション・事前準備等は全て米山奨学生が自分達で考えたものです。奨学生は自国の民族衣装や浴衣に身を包み、グループに分かれ、それぞれが「民族衣装の紹介」「踊り」「歌の合唱」などを高齢者の皆さんに一生懸命披露しました。最後に全員で「ふるさと」を合唱。高齢者の皆さんも、どこか懐かしそうに口ずさんでいた姿が今も思い出されます。

短い滞在時間でしたが、奨学生はこの貴重な体験に心が動かされたようです。奉仕を通じ、ロータリーの理念をより一層理解してくれたものと思います。

今回このような機会を与えてくださった大吉会の理事長　井橋吉一様（越谷RC）をはじめ施設長の井橋興蔵様や職員の皆様には心より感謝を申し上げます。

ロータリー財団

大口寄付 191,376.66$

田中徳兵衛
（川口）
平成26年9月29日

大口寄付 64,000$

田中　章夫
（川口南）
平成26年9月26日

大口寄付 51,440.00$

吉田　肇
（川口西）
平成26年9月26日

大口寄付 17,200$

石井　治
（春日部）
平成26年8月28日

大口寄付 11185.61$

齊藤　照夫
（大宮西）
平成26年9月10日

大口寄付 17,200$
M・P・H・F(10)

籠島　延隆
（浦和）
平成26年8月28日

M・P・H・F(7)

高橋　一哲
（大宮北）
平成26年9月22日

M・P・H・F(7)

清村　忠雄
（越谷東）
平成26年8月25日

M・P・H・F(6)

荒井　伸夫
（大宮西）
平成26年9月10日

M・P・H・F(6)

齊藤　實
（大宮西）
平成26年9月10日

M・P・H・F(5)

坂　仁視
（大宮中央）
平成26年9月3日

M・P・H・F(5)

岩渕　孝男
（大宮中央）
平成26年9月3日

M・P・H・F(5)

清水　恒信
（大宮西）
平成26年9月10日

M・P・H・F(5)

中村　雅之
（大宮西）
平成26年9月10日

M・P・H・F(5)

坂間　正
（大宮西）
平成26年9月10日

M・P・H・F(5)

石井　忠晴
（戸田西）
平成26年9月25日

M・P・H・F(4)

片岡　暎子
（川口西）
平成26年9月17日

M・P・H・F(4)
ベネファクター(2)

田村　眞
（大宮）
平成26年9月30日

M・P・H・F(4)

切敷　健一
（大宮中央）
平成26年9月3日

M・P・H・F(4)

守屋　実
（大宮中央）
平成26年9月3日

M・P・H・F(4)

櫻井　義久
（大宮）
平成26年9月30日

M・P・H・F(4)

斎藤　一夫
（上尾西）
平成26年9月24日

M・P・H・F(4)

三角　朗
（上尾西）
平成26年9月24日

M・P・H・F(4)

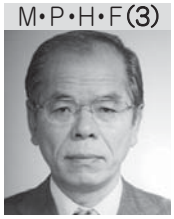
太田　周藏
（八潮イブニング）
平成26年8月21日

M・P・H・F(3)

遊馬　久治
（大宮北東）
平成26年8月20日

M・P・H・F(3)

山田　雅明
（大宮東）
平成26年9月10日

M・P・H・F(3)

泉　英明
（大宮中央）
平成26年9月3日

M・P・H・F(3)

星野　時夫
（大宮中央）
平成26年9月3日

M・P・H・F(2)

村石　政彦
（川口東）
平成26年9月3日

M・P・H・F(2)

長谷川政功
（大宮中央）
平成26年9月3日

M・P・H・F(2)

土井千代子
（越谷南）
平成26年9月4日

ベネファクター(1)

小高　正之
（桶川イブニング）
平成26年8月29日

M・P・H・F(1)

長谷川未千代
（大宮北東）
平成26年8月20日

M・P・H・F(1)

長谷川秀明
（大宮北東）
平成26年8月20日

M・P・H・F(1)

新藤　信夫
（大宮西）
平成26年9月10日

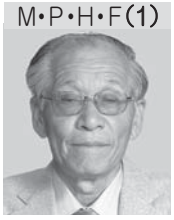
M・P・H・F(1)

田中　峰吉
（川口西）
平成26年9月30日

M・P・H・F(1)

木戸　良樹
（川口モーニング）
平成26年8月26日

M・P・H・F(1)



前場　武勇
（上尾西）
平成26年9月24日

M・P・H・F(1)

中川　悦宏
（八潮イブニング）
平成26年7月31日

M・P・H・F(1)

江連　俊裕
（川口）
平成26年8月28日

P・H・F

川鍋　一夫
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

中谷　輝彦
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

矢尾喜三郎
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

和地　克彦
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

中村　健一
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

石井　秀幸
（大宮中央）
平成26年9月3日

P・H・F

川村　郁夫
（大宮西）
平成26年9月10日

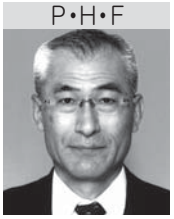
P・H・F

池田　進
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

鈴木　恭二
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F



田村　戸一
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

金田　敬次
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

新井　清太
（大宮西）
平成26年9月10日

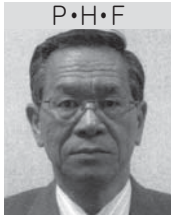
P・H・F

新見　和男
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

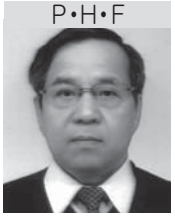
結城　剛
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F



吉田　繁
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F



田口　修身
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

新城　盛辛
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

新藤　栄介
（大宮西）
平成26年9月10日

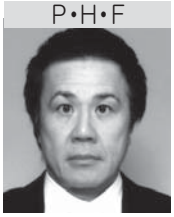
P・H・F

吉田　奉行
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

小木曽賢己
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F



冷牟田正見
（大宮西）
平成26年9月10日

P・H・F

渡部　正司
（大宮東）
平成26年9月30日

P・H・F

星野晃一郎
（大宮）
平成26年9月30日

ベネファクター(1)

井原　正
（さいたま中央）
平成26年9月26日

ベネファクター(1)

明石　寿也
（戸田西）
平成26年9月25日

ベネファクター(1)

岡田　和男
（大宮北）
平成26年9月29日

米山奨学会

米山功労者メジャードナー(27)

石井　治
（春日部）
平成26年8月28日

米山功労者メジャードナー(23)

中里　公造
（川口モーニング）
平成26年8月26日

米山功労者メジャードナー(20)

田村　亮夫
（川口モーニング）
平成26年9月16日

米山功労者メジャードナー(18)

池口　順造
（大宮北）
平成26年9月22日

米山功労者メジャードナー(17)

久世　晴雅
（大宮中央）
平成26年9月3日

米山功労者メジャードナー(14)

岩渕　孝男
（大宮中央）
平成26年9月3日

米山功労者メジャードナー(12)

大熊　進
（越谷南）
平成26年9月26日

米山功労者メジャードナー(2)

清村　忠雄
（越谷東）
平成26年8月25日

米山功労者メジャードナー(11)

竹ノ谷光美
（川口南）
平成26年9月24日

米山功労者メジャードナー(11)

吉川　公夫
（上尾）
平成26年9月25日

米山功労者メジャードナー(1)

瀬田　一雄
（大宮東）
平成26年9月17日

米山功労者メジャードナー(1)

野崎　昌雄
（川口中央）
平成26年9月2日

米山功労者マルチプル(8)

石井　忠晴
（戸田西）
平成26年9月25日

米山功労者マルチプル(8)

池田　玄一
（越谷南）
平成26年9月26日

米山功労者マルチプル(8)

野口　勇
（川口シティ鳩ヶ谷）
平成26年9月26日

米山功労者マルチプル(8)

吉田　暎治
（大宮西）
平成26年9月10日

米山功労者マルチプル(7)

佐々木洋四郎
（春日部西）
平成26年9月8日

米山功労者マルチプル(7)

熊木正太郎
（川口北東）
平成26年9月17日

米山功労者マルチプル(6)

清水　恒信
（大宮西）
平成26年9月10日

米山功労者マルチプル(5)

斉藤　隆男
（三郷ウエンズデー）
平成26年9月26日

米山功労者マルチプル(5)

岡田　信昭
（越谷南）
平成26年9月26日

米山功労者マルチプル(5)

東　秀文
（三郷ウエンズデー）
平成26年9月26日

米山功労者マルチプル(5)

関口　茂
（大宮）
平成26年9月30日

米山功労者マルチプル(4)

小嶋　明夫
（浦和西）
平成26年8月26日

米山功労者マルチプル(3)

白石　克己
（三郷ウエンズデー）
平成26年9月26日

米山功労者マルチプル(3)

西山　育昌
（川口モーニング）
平成26年8月26日

米山功労者マルチプル(3)

五十幡　健
（川口モーニング）
平成26年8月24日

米山功労者マルチプル(3)

櫻井　義久
（大宮）
平成26年9月30日

米山功労者マルチプル(2)

吉田　宏
（大宮西）
平成26年9月10日

米山功労者

田中　峰吉
（川口西）
平成26年9月30日

米山功労者マルチプル(1)

小峯　宣昭
（大宮西）
平成26年9月10日

米山功労者マルチプル(1)

油原　正義
（三郷ウエンズデー）
平成26年9月26日

米山功労者

堀田　明
（春日部西）
平成26年9月8日

米山功労者

小林　治夫
（大宮）
平成26年9月30日

新会員

米山功労者マルチプル(1)

川鍋　一夫
（大宮西）
平成26年9月10日

米山功労者マルチプル(1)

中村　健一
（大宮西）
平成26年9月10日

米山功労者マルチプル(1)

和地　克彦
（大宮西）
平成26年9月10日

松本　考史
（浦和西）
平成26年8月19日入会
（株）タカマツ工業
建築業

石山　隆
（三郷）
平成26年8月22日入会
（有）えびす給食
外食産業

永田　悦弘
（浦和東）
平成26年8月28日入会
埼玉綜合警備保障（株）
警備業

橋本　武則
（大宮中央）
平成26年9月2日入会
有限会社シンタケ
ビル管理

佐藤　博信
（三郷中央）
平成26年9月2日入会
㈲グリーンホームズ
不動産業

羽田しげみ
（大宮南）
平成26年9月9日入会
㈱ダッドアムール
不動産管理

広瀬　隆
（浦和ダイヤモンド）
平成26年9月10日入会
さいたま司法書士事務所
司法書士

奈良　俊一
（幸手）
平成26年9月10日入会
株式会社　ならいち
書籍・文具販売

並木　勇一
（越谷北）
平成26年8月6日入会
株式会社 Budscene
設備工事業

直江　雅也
（川口）
平成26年9月11日入会
水戸証券（株）
金融保険業ー証券

栗山　誠紀
（三郷）
平成26年9月12日入会
くりやま歯科医院
歯科医

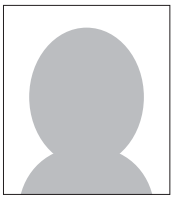
中村　孝明
（草加松原）
平成26年9月16日入会
草加建設株式会社
総合建設

村田　拓郎
（大宮中央）
平成26年9月16日入会
司法書士法人カインドリー
司法書士

隅田　敏
（越谷東）
平成26年9月25日入会
隅田法律事務所
弁護士

白鳥賢一郎
（春日部イブニング）
平成26年9月30日入会
白鳥輪業

石塚　歩
（春日部イブニング）
平成26年9月30日入会
（株）プライム・ワン



渡邉　晋哉
（春日部イブニング）
平成26年9月30日入会
（有）アーテイス

尾ケ井　實
（吉川）
平成26年10月1日入会
㈲尾ケ井電器商会
電気店

訃報　◆ 謹んでお悔やみ申し上げます

伊藤　巌　様
（浦和北）
平成26年10月3日
享年81歳

柴崎　騏一郎　様
（大宮南）
平成26年9月11日
享年71歳

新井　幾二　様
（鳩ヶ谷）
平成26年9月17日
享年90歳

＊お詫びと訂正＊　月信4号に於きまして、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P8　「職奉ニュース」　河野坦司様の文章

誤）認証状伝違式　　正）認証状伝**達**式　　誤）借越ながら　　正）**僭**越ながら

誤）出会いと研鏝　　正）出会いと研**鑽**　　誤）未熟考　　正）未熟**者**

P25　米山奨学会　小嶋　明夫様　……　再度、掲載いたしました。

誤）（越谷東）　　正）（**浦和西**）

2014 ～ 2015 年度　9月　会員数及び出席率報告

クラブ名	2014年7月1日現在		当月末会員数		増減	目標	通算	当月		通算出席率順位
		内女性		内女性		純増	入会	出席率	順位	
浦和	113	1	113	1	0	5	1	81.80	47	38
浦和東	80	4	82	4	2	5	3	92.01	9	10
浦和南	23	0	23	0	0	3	0	93.48	6	17
浦和中	35	2	35	2	0	5	0	90.84	14	1
浦和ダイヤモンド	25	7	25	7	0	5	0	90.96	13	20
第1グループ計	276	14	278	14	2	23	4	89.82		
浦和北	72	6	76	8	4	5	5	75.71	63	65
さいたま中央	46	2	45	2	−1	3	0	78.80	56	54
浦和西	16	2	19	3	3	5	3	78.94	55	63
浦和北東	45	4	45	4	0	5	0	67.79	71	68
さいたま新都心	38	0	38	0	0	3	0	90.03	19	15
第2グループ計	217	14	223	17	6	21	8	78.25		
大宮	69	0	69	0	0	2	1	76.59	60	61
大宮南	38	6	40	7	2	5	3	87.50	28	29
大宮中央	46	1	49	1	3	5	3	68.04	70	72
大宮南東	7	4	7	4	0	2	0	79.40	53	56
大宮シティ	72	4	72	4	0	8	0	79.17	54	57
さいたま欅	20	2	20	2	0	5	0	85.00	34	37
さいたま大空	17	9	19	9	2	3	2	76.16	61	66
第3グループ計	269	26	276	27	7	30	9	78.84		
大宮西	90	5	88	5	−2	10	0	66.41	73	69
岩槻	28	3	28	3	0	3	0	66.95	72	74
大宮北	23	1	23	1	0	5	0	87.72	27	33
大宮東	32	0	40	0	8	5	8	76.95	59	28
岩槻東	28	1	31	1	3	3	3	80.55	50	39
大宮北東	15	2	15	2	0	3	0	65.00	75	70
第4グループ計	216	12	225	12	9	29	11	73.93		
上尾	35	1	35	1	0	5	0	90.71	15	7
鴻巣	22	1	23	2	1	6	1	94.34	3	8
桶川	17	0	19	0	2	5	2	71.33	68	60
上尾西	45	0	46	0	1	2	1	89.21	22	6
北本	9	0	9	0	0	2	0	94.45	2	12
上尾北	24	0	26	0	2	2	2	94.04	4	3
鴻巣水曜	32	5	33	5	1	5	1	90.15	17	26
桶川イブニング	18	1	19	1	1	3	1	88.15	24	19
第5グループ計	202	8	210	9	8	30	8	89.05		
春日部	40	0	42	0	2	5	2	83.75	38	35
杉戸	37	0	39	1	2	1	2	84.29	36	21
春日部西	29	1	29	1	0	3	0	83.60	40	27
庄和	22	1	24	1	2	3	2	81.87	45	43
春日部南	28	2	30	2	2	7	2	86.66	29	30
春日部イブニング	23	1	26	1	3	3	3	91.82	10	2
第6グループ計	179	5	190	6	11	22	11	85.33		

クラブ名	2014年7月1日現在		当月末会員数		増減	目標	通算	当月		通算出席率順位
		内女性		内女性		純増	入会	出席率	順位	
幸手	43	1	43	1	0	5	1	90.05	18	11
蓮田	47	1	49	1	2	5	2	85.71	30	45
久喜菖蒲	53	4	53	4	0	6	1	82.54	44	44
栗橋	9	0	9	0	0	2	0	84.37	35	58
幸手中央	25	0	26	0	1	3	2	69.23	69	73
第7グループ計	177	6	180	6	3	21	6	82.38		
越谷	86	6	90	6	4	5	4	87.90	26	41
越谷南	51	5	55	5	4	5	4	74.76	66	64
越谷北	55	2	55	2	0	5	1	77.25	58	48
越谷東	50	6	51	6	1	2	2	75.33	65	67
越谷中	20	3	21	2	1	2	2	89.28	21	18
第8グループ計	262	22	272	21	10	19	13	80.90		
八潮	43	3	51	3	8	10	8	80.93	49	49
草加南	9	1	9	1	0	3	0	88.88	23	32
八潮イブニング	27	0	27	0	0	3	0	87.98	25	42
草加中央	19	0	19	0	0	5	0	85.50	32	36
八潮みらい	26	0	24	0	−2	5	0	92.70	8	13
草加松原	33	2	33	1	0	5	1	75.59	64	59
第9グループ計	157	6	163	5	6	31	9	85.26		
吉川	31	2	31	2	0	3	0	79.82	52	62
三郷	34	3	39	3	5	5	5	81.87	45	51
三郷中央	18	0	19	0	1	7	1	85.52	31	31
三郷ウェンズデー	25	4	27	4	2	5	2	75.93	62	55
松伏	12	3	13	3	1	3	1	90.25	16	25
第10グループ計	120	12	129	12	9	23	9	82.68		
川口	80	12	84	13	4	5	5	71.46	67	71
鳩ヶ谷	24	0	25	0	1	3	2	83.68	39	24
川口東	20	0	21	0	1	5	1	80.54	51	47
川口・鳩ヶ谷武南	26	2	26	2	0	2	0	85.17	33	34
川口モーニング	31	1	31	1	0	3	0	83.87	37	23
川口南	33	4	34	4	1	5	1	65.85	74	75
川口シティ鳩ヶ谷	19	1	20	1	1	3	1	91.23	12	22
埼玉ゆず	12	12	12	12	0	5	0	91.66	11	9
第11グループ計	245	32	253	33	8	31	10	81.68		
戸田	50	5	50	5	0	3	0	81.46	48	53
蕨	27	2	28	2	1	5	1	82.75	43	40
川口西	28	4	29	4	1	3	1	83.04	42	50
戸田西	26	1	25	1	−1	2	0	92.94	7	4
川口北	23	0	24	0	1	3	1	95.23	1	14
川口北東	19	1	19	1	0	3	0	93.75	5	5
川口中央	13	2	13	2	0	3	0	83.33	41	46
川口むさし野	18	2	18	2	0	2	0	89.70	20	16
戸田イブニング	17	0	17	0	0	2	0	78.13	57	52
第12グループ計	221	17	223	17	2	26	3	86.70		
地区合計	2541	174	2622	179	81	306	101	83.14		